

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス豊見城教室		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童指導員、保育士、作業療法士など専門性の高い職員が訪問していること。	・訪問員が短い期間で変更にならないよう、働きやすい環境作りに努めております。	・定期的な職員面談で訪問状況の確認を行い、上手くいかない問題などを一人で抱え込まないように致します。
2	・当事業所の放課後等デイサービスと併用している為、事業所の様子や療育状況も併せて支援ができること。	・訪問日の前には情報収集を行い、近況把握して訪問することで、タイムリーな支援を行えるように努めております。	・今後も訪問先の先生方としっかり連絡調整を行い、信頼関係を築くことで支援の質を深めることができるように致します。
3	・児童、保護者からの相談やニーズに対して、各職員で多角的な視点を用いて会議を行い、迅速かつ適切に対応していること。	・保護者より相談の申し入れがあった際にはすぐに日程の調整を行い、タイムリーに話を聞く体制を取っている。また、事前に相談内容が分かる際には必要な資料を用意してなるべく保護者に分かりやすいような工夫をしております。	・保護者への訪問後の報告を丁寧に行い、保護者が気になっている事をその都度キャッチできるように努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学校の先生方が連絡を取れる時間帯が、放課後等デイサービスのサービス提供時間と重なるので、連絡の行き違いや失念につながる。	・放課後等デイサービスの児童対応に追われていること。 ・事後報告ができていないこと。	・放課後等デイサービスの児童対応に追われるのはもともとわかることなので、その日の職員の動きを共有するために作成している予定表に記載し、職員個人の意識を高めながら、リーダーに報告義務を課して完了報告を怠らないように努める必要がある。
2	・訪問できる職員が事業所の半数しかいないところ。	・保育所等訪問について、勉強会や研修の実施が遅いこと。	・保育所等訪問の勉強会や研修をなるべく早く新職員に実施して、訪問できる人材を増やす工夫が必要である。
3	・訪問先の先生に報告する時間が十分に取れないところ。	・訪問先の先生に報告する時間が、放課後等デイサービスのサービス提供時間とかぶっていること。	・訪問終了後に直接報告時間の調整を行うことが難しい為、訪問報告書の内容を細かくし、文書だけの報告でもお伝えできるような工夫が必要である。